

1. 研究課題名

大腿骨近位部骨折患者における中長期フォローアップ状況の実態

2. 試料・情報

(1) 利用目的

このたび、当センターでの診療の中で得られた記録をもとに、治療やケアの在り方について振り返りを行う取り組みを実施いたします。

大腿骨近位部骨折を経験された患者さんが、退院後も安心して治療や生活を継続できるよう、当センターにおける Fracture Liaison Service (FLS: 骨折後の継続支援の取り組み) のあり方を見直し、よりよい医療・支援体制の構築につなげることを目的としています。具体的には、退院後の外来受診の状況や、骨粗鬆症治療の継続状況、リハビリテーションや栄養指導状況、地域や維持期施設との連携の状況などを振り返り、どのような支援が患者さんの再骨折予防や生活の質の向上につながっているのかを検討します。

これらの情報をまとめて、分析することで、受診や服薬が途中で中断されてしまう背景や、支援が十分に行き届いていない点などを明らかにし、今後、患者さん一人ひとりにとってよりわかりやすく、無理のない支援の方法を検討することが可能になります。本研究で得られた結果は、今後の診療体制の改善や、二次骨折予防の取り組みの充実に活かされ、将来同様の骨折を経験される患者さんの支援にも役立てられることが期待されます。使用するのは診療やカンファレンスの記録などです。個人がわかるような情報は一切外部に出しません。研究の実施にあたっては、当センターの臨床研究倫理審査会の承認を得ています。

この取り組みにご自身やご家族等の情報を使用されることを希望されない場合は、遠慮なく下記までお申し出ください。研究期間は承認日から2026年12月までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、2022年7月から2025年12月の間に、当センターで入院して大腿骨近位部骨折による治療を受けられた方の診療記録を使用して行います。必要とする情報は、当センター外来や維持機施設への受診や連携状況、骨粗鬆症治療状況、リハビリテーション状況、栄養指導の受診状況の記録などで、調査を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 骨・関節整形外科医師 伊藤英也 (研究責任者)

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604

担当：骨・関節整形外科 伊藤英也